

令和7年度 妙高市通学路における合同安全点検 結果一覧

<要請の観点>
 観点① 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所
 観点② 過去に事故に至らなくても、ヒヤリハット事例があった箇所
 観点③ 保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所
 観点④ その他

番号	小学校名 及び通し番号	危険箇所			合同点検の有無				対策実施担当			学校・教育委員会の対策実施時期			学校・教育委員会の対策内容				備考
		危険箇所の位置・形状	理由	要請の 観点	R5年度 点検実施	R6年度 点検実施	今回新た に点検を 実施	実施しない場合、 その理由	学校・教 育委員会	道路管理 者	警察	対策済	本年度中 に実施	来年度以 降実施	通学路の 変更	ボラン ティア等 による見 守り活動	安全教育 (注意喚 起)	その他	
1	斐太北小学校1	斐太北保育園から63号線を渡る地下道	地下へ降りるため、人目につかなくなるので危険である。以前、地下道でギターを弾きながら歌っている人物がおり、警察へ情報提供を行った。	①		○					○						○		
2	斐太北小学校2	国道18号乙吉交差点	交通量が多く、さらに右左折車もあり、児童が横断する際に注意を要する。	①③	○	○					○						○		
3	斐太北小学校3	県道63号線 乙吉交差点から南方面へ進む道路	交通量の多い路線であるが、歩道が両サイドにないため、横断を余儀なくされる児童もいる。さらに、ガードレールもなく、歩道の脇には用水路が流れており、児童の通学路としては危険な要素が多い。冬季は歩道が凍結して、転倒の危険がある。登校時に荒天、路面凍結の場合、保護者が学校に送っている児童が数名いる。	③	○	○					○						○		
4	斐太北小学校4	神宮寺地内歩道	夏季は歩道を通行しているが、冬季は歩道に除雪車による雪が堆積するので、車道を歩かざるを得ない。	③		○					○						○		歩道除雪は住居が多い東側を実施していることから西側の歩道も実施することは困難である。
5	斐太北小学校5	上十日市地内県道63号線	冬季間、県道63号線の除雪によって、住宅地側に雪壁ができる。反対側の除雪済みの歩道へ行くために県道を横断する際、雪壁によって左右の見通しが悪く、横断の際に児童と車両が衝突する恐れがある。また、春から秋にかけて歩道や路側帯の雑草が伸び、低学年児童の背丈ほどになっていても放置されているときがある。	①② ③			○				○	(○)					○		歩道の除雪は、片側のみを実施しており両側を実施することは困難である。雪壁は、車道除雪を優先することから早期の排雪は困難である。堆雪状況を確認しながら順次排雪を行う。歩道の除草は、原則年1回としている。通学に特に支障が出た場合、情報提供をしてもらいたい。
6	新井北小学校1	稲塚広島線 月岡2丁目カーブ付近	(1)道幅が狭い(2)見通しが悪い(3)歩道がない(既に様々な対応をいただいている)。その上で、降雪時は除雪された雪が道路脇にあり、白線が隠れ一層狭くなる。児童は、除雪されている車道の端ぎりぎりを歩くか、でこぼこした雪の上を歩くしかない。また、児童が登下校時に横断する箇所に横断歩道がなく、横断時に危険が伴う。	①③ ④	○	○					○						○		・地域住民に、該当箇所を通行する際は速度を落とすよう呼び掛ける。 ・道路がカーブのため、横断歩道の設置は逆に危険になるためできない。 (・グリーンベルトのペイントの塗り直しをする予定)
7	新井北小学校2	新井高田線 柳井田町～栗原	冬期は、歩道に除雪車による雪が堆積するので、車道を歩かざるを得ない。また、堆雪のため、川と道路の境目も見づらくて危険になっている箇所がある。	①④			○				○						○		
8	新井北小学校3	国道292号線 栗原交差点	歩行者用押しボタン信号機が設置されている。R6年度冬期に、ボタンが凍結し、押せない状況があった。地域の安全ボランティアの方が安全に配慮しながら車の通行を止め、児童を横断させることがあった。	①④			○											○	・ボタンカバー用のゴム製キャップをかぶせる。 ・児童が安全に押しボタン機に到達しボタンが押せるよう、歩道の除雪に配慮する。

